

「平成 2 2 年度夏期授業実践講座」 実施報告

講座名	「感想画指導実践講座」～子どものよさを引き出す描かせ方～
講師	西村貞雄 氏（沖縄県美術教育推進協議会役員）
実施日時	平成 2 2 年 8 月 6 日（金） 9：00 ～ 12：00
参加者	83人
講座内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇子どもの絵に関する発達段階について ◇年間を通した絵の指導 ◇動きのある人物画の指導について ◇絵の具での混色や塗り方など
参加者の感想・質問など	<ul style="list-style-type: none"> ○ なかなか絵を描こうとしない児童に対して、どのように指導すればいいのか困っていました。大切なことは、児童とたくさん話をして、ものの見方を捉えさせることなのだと思います。感想画を描かせるときにはすぐに画用紙を与えるのではなく、イメージをたくさんスケッチさせ、構想させていくことの大切さも分かりました。 ○ 子どもの発想や思いを大切にするという考え方に共感するところがあり、「こういうのもいいけど、こうするのもいいよ。」という声かけなど、生徒の立場で感じるいろいろなとあり、勉強になりました。 ○ 感想画の描き方がよく分かりとても良かったです。特に、写実的なことばかりにとらわれていたので、今日の研修で自由にのびのびと描かせることが大切だと知り、何となく安心しました。 ○ 低学年から概念を育てることの大切さが分かりました。「表現技術はすぐ教えるのではなく、子どもに任せることも大事」ということについても、普段ついやってしまうことなので、反省しました。 ○ 子どもの発達段階に応じて、切って貼り付けてみるという構成の技法もおもしろいと思いました。描けない子への手立てとしてやってみたいと思います。 ○ 絵の具を使う際の水加減の大切さを、もっと子ども達に伝えたい。 ○ 次回は下絵から色塗り、完成するまでの全過程を教えてくださいたいです。
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;">   </div>